

浄化装置できあがる

新日 窒 排水は川水と同程度

水俣病をめぐる漁民騒動の激化で

新日窒水俣工場が工費六千万円を
投じ年内完成を急いでいた工場内
新浄化装置は十九日完成、二十四
日の完工式をまたず同日午後二時
から報道関係者に同装置を披露し
た。

同工場廃水はこの装置により普通
の川の水と同等いどのものが百間
港排水溝に流されるという。

同装置は同工場が東京荏原イン
フィルコ社に発注したもので、
サイクレーターとセディフロー
ター両設備からできており、サ

イクレーターは濃縮した泥を連
続排出する機能を備えた容積千
二百立方分の沈でん槽で、一度
沈でんした泥は少量の水とともに
槽の下から連続的に取り出す

れる。

いっぽう浄化された水を槽の上
の方から溢流させる仕組みで、
この装置で処理される排水量は
毎時五百ト。またセディフロー
ターはススを含んだ排水を処理
するため特別に考案された装
置。前者の機構にさらに沈降し
にくいような微粒子を除くため
に空気を溶かしこんだ圧力水を
槽の中に吹き込み、そのときで
きる小気泡に微粒子をつけ、泡
といっしょに槽上面に浮き上が
らせるようにしたもの。

の排水溝に流すようになってい

最大排水量は毎時百ト。この二つ
の浄化設備により固形物を取り除
き、自動調整し普通の川水ていど
にするとともに普通の冷却水（毎
時約三千ト）といっしょに百間港